

# 地鎮祭にまつわる神職のヒトリ語り

(ご興味ある方はご一読ください)

地鎮祭にまつわる事項として不動産、そして住宅会社の方々はどうしても、最初から仕事、業務としての一環で地鎮祭と関わってしまうがために、神事ではなくイベントとして、地鎮祭の在り方が、"やらないよりやったほうがいい"、"あの神社はご祈祷料が高い、この神社は安い"というような損得、あとは面倒な準備なく、「労せずラクに」、の感覚で当事者に進め伝わってしまう、彼らに非があるとまでは申しませんが、職務内容の違いが、気付かぬうちにそのような解釈・誤差として起きていることは否めません。

仮に当事者が興味を持ち自分で調べ、地鎮祭の有無をご自身で確認されるようならまだしも、多くの方がそのまま土地・住宅のセット内容、オプション感覚で「やらされるもの」として進めてしまっている、そんな現状が私達神職には受け取れ、これを改善しなければならないと思っております。

よって、当社ではその土地を買い、そこにお家を建てようという「当事者」が地鎮祭を行いたい、という場合に限り、その段取りを始めさせて頂く所存です。地鎮祭に限らず、神事というのはその心持ちというのが、まずは何よりも大切であります。当社 HP より「ご祈祷受付」からは代行に任せず、ぜひ施主様(当事者)よりのご依頼をお待ち申し上げます。

もうひとつ、ご祈祷料(費用)の話をするならば、当社では三万円から～と明記しているわけなのですが、それがお財布から、お手持ちの額から、という観点では、勿論安いものではございません。

しかし、土地または建物にかかるウン千万という額から比較するに、土地の清浄、鎮めの儀式を行うためにかかる費用、それにより貴方とそこご家族が土地に根を生やし、未来永劫生活し続けるための...ということに転化するなら、それぐらいで済む額でもあるか、と考えることもできるはずで  
す。

すべてにご理解のない方はご祈祷を受けられない上に、毛頭ご依頼もございません。この「理解する」、ということは、神道・神事の何たるか？を理解するのではなく、古(いにしえ)より培われた順序と姿勢のある「儀礼(礼儀)」であることを十分承知の上で、受けられる方にはどうかその順番を読み違えることなく参列して頂ければと、心より願います。

## 最後に...

神道家として敢えて申し述べられますことは、かたやひと区画の何気ない土地にさえ、過去に歴史を遡れば知られることのなかった事件、忘れ去られている事故、不幸事、その中に渦巻く人の念や喜び、哀しみ、喜怒哀楽の数々の出来事が複雑に混在し、何もなく、起こらず、一切の問題ない土地であるほうが稀(まれ)であることは言うまでもありません。そのために私達は「鎮めの儀」を執り行い、そこを住処とする人々の安寧、一抹の平穏を願う行事こそが「地鎮祭」という形です。

そしてそんな中、ご祈祷者が祭典行事だけに真摯に望むのはもはや当然で、しかしそれより、先に

も述べました儀礼を重んじ、そして面倒のかかる準備など真剣に取り組み、最後、終わりまでその姿勢を重んじる...そういう一つひとつの行為「行(おこな)い」に、そこへ関わる貴方自身が試されている、ということ、長年奉職していれば否が応でも実感する次第なのです。